



# MacBook Air 13インチ Retina Display Late 2018 ロジックボードの交換

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Retina Display...

作成者: Adam O'Camb



## はじめに

このガイドを参照して、MacBook Air 13インチ Retina Display Late 2018 ロジックボードを交換します。

**Touch IDセンサーを交換後、Touch IDは機能しなくなります。ご注意ください。** MacBookのオリジナルTouch IDセンサーは工場生産時にロジックボードのT2チップとペアで製造されています。Appleの独占キャリブレーション手続きを経なければ回復できません。他モデルのMacBook Airから取り出した正規品Touch IDを移植しても同様です。

Touch IDセンサーを交換するには、Touch ID機能を保持するために、ペアで製造されたロジックボードをインストールする必要があります。



### ツール:

[P5 ペンタローブネジ用ドライバー \(Retina MacBook Pro/Air用\)](#) (1)  
[ピンセット](#) (1)  
[スパッジャー](#) (1)  
[T3 トルクスネジ用ドライバー](#) (1)  
[T4 トルクスドライバー](#) (1)



### 部品:

[MacBook Air 13" \(Late 2018-Mid 2019\) 1.6 GHz Logic Board and Touch ID Sensor](#) (1)

## 手順 1 — 下部ケースを固定しているネジを外します



① この手順を始める前に、**Macのオートブート機能を解除する**必要があります。自動起動中、蓋を開けるとMacの電源をオンにし、分解中に誤ってトリガーされる可能性があります。[こちらのガイド](#)を参照して自動起動を無効にします。

- MacBookにBig Sur v11.1以降がインストールされている場合、自動起動を無効にするとうまくいかないことがあります。通常通りに作業を進めることができますが、開口できたらすぐにバッテリーを外してください。

⚠ **作業を始める前に、MacBook Airの電源を切り、プラグから外します。ディスプレイを閉じて、ラップトップ全体を裏返します。**

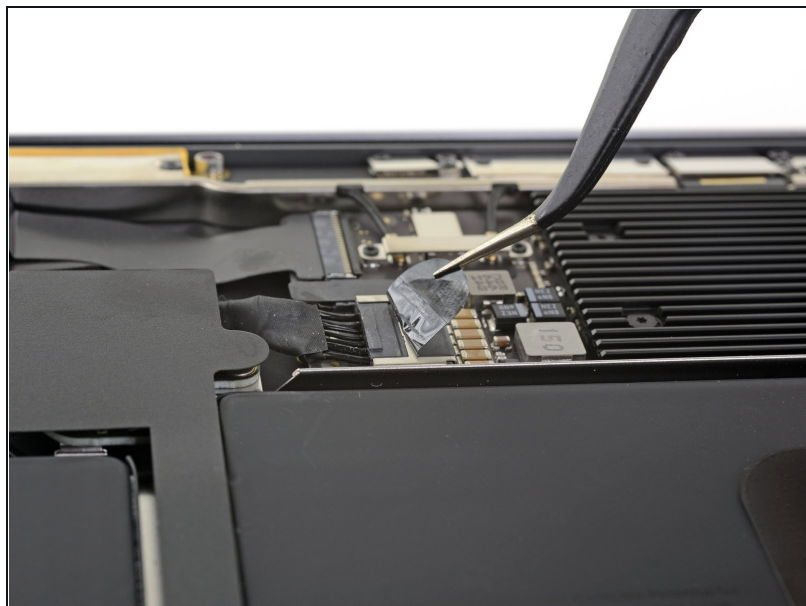
- P5ドライバーを使って、次のネジを外します。
  - 7.9mmネジ—2本
  - 7.1mmネジ—2本
  - 2.6mmネジ—6本

## 手順2 — 下部ケースを取り出します。



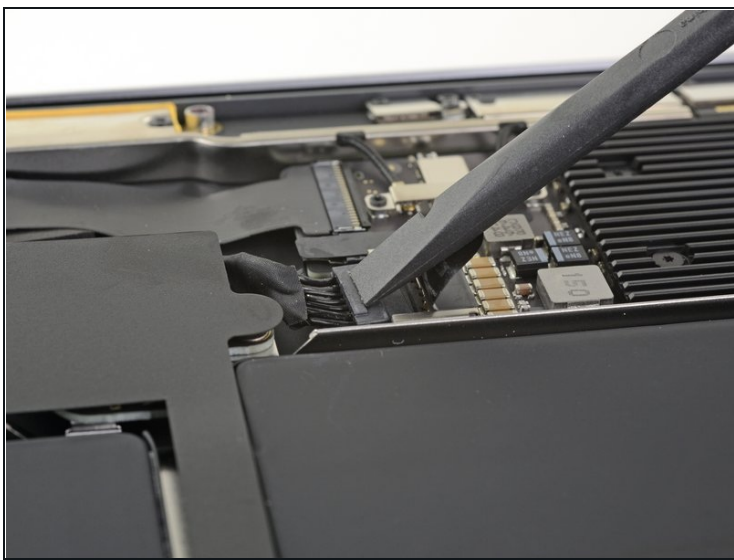
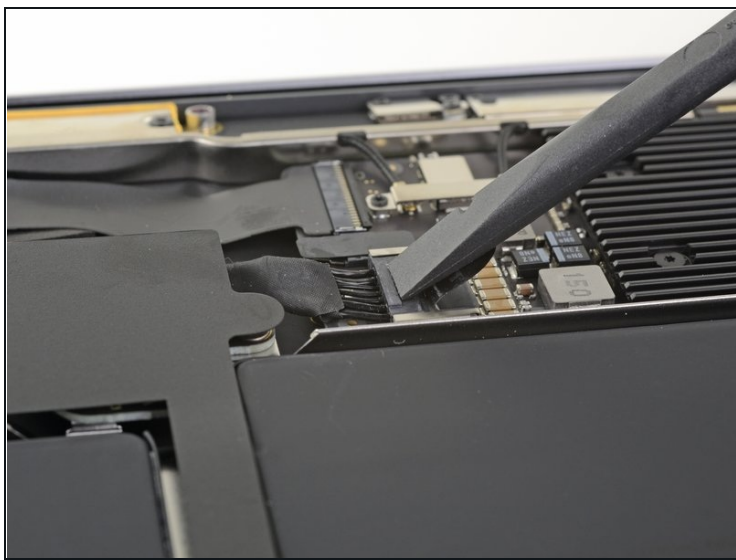
- 指先をディスプレイと下部ケースの間に挟んで、Airから下部ケースを上向きに引き上げます。
- 下部ケースを取り出します。
- ★ 再組み立て後、電源に接続するまでMacBookの電源が入らない場合があります。修理を試すには、充電器を接続し、MacBookの電源が入るまで2分ほど待ち、すべてが期待通りに動作することを確認してください。

## 手順3 — バッテリーの接続を外します。



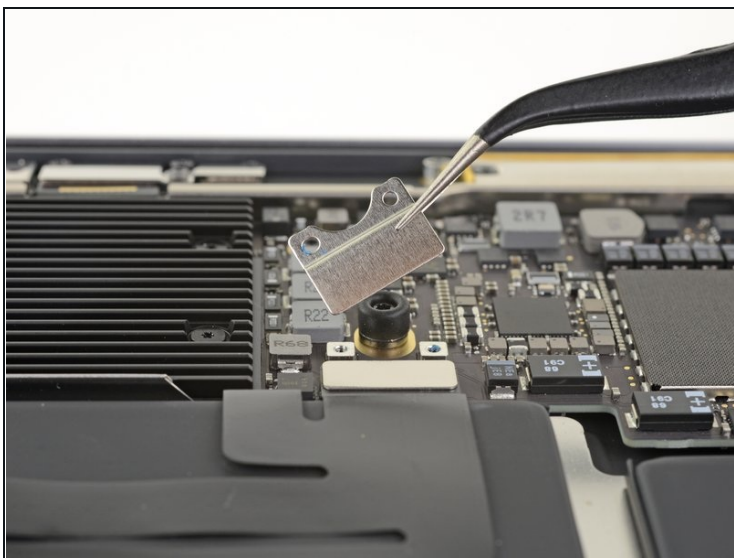
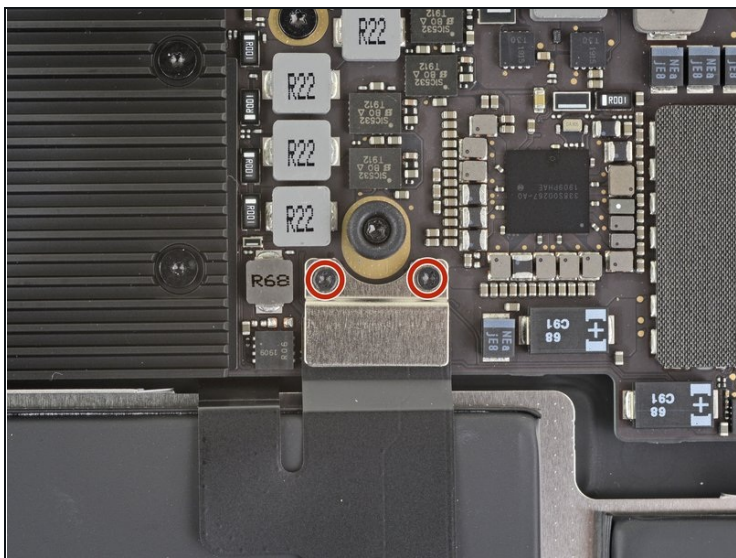
- バッテリーコネクタを覆っているテープを剥がして、下のコネクタを露出させます。

#### 手順 4



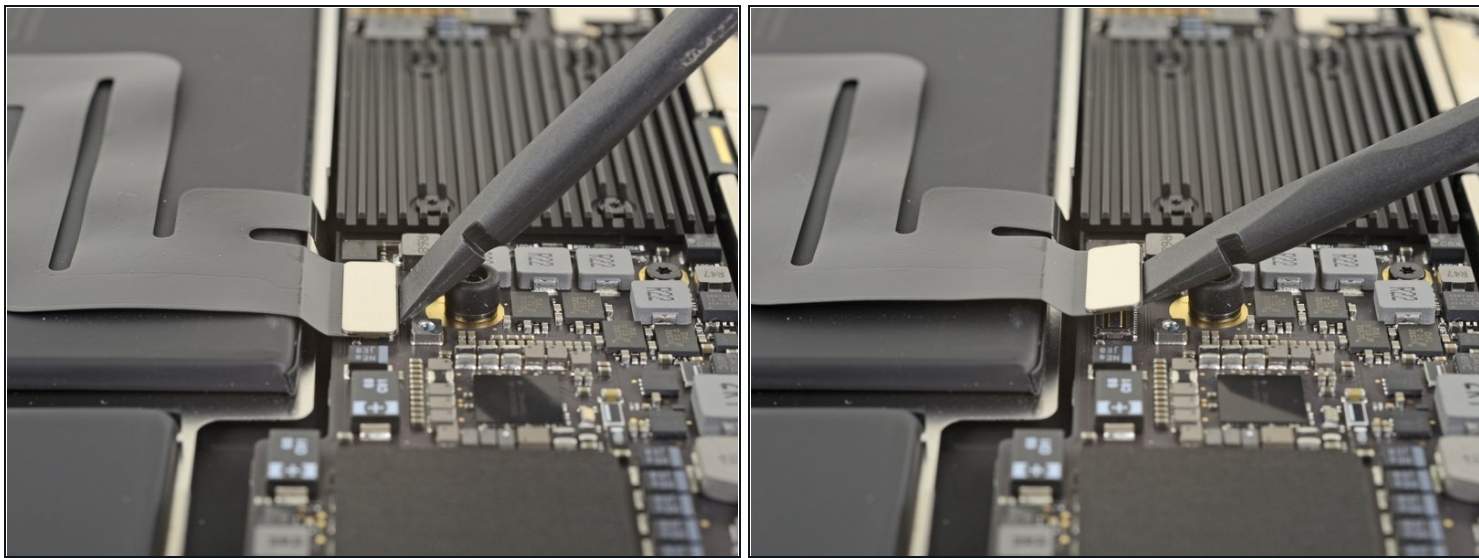
- スパッジャーを使って、バッテリーコネクタの下に差し込み、ロジックボードと並行にスライドして、ロジックボード上のソケットからコネクタを外します。

#### 手順 5 — ロジックボードの接続を外します



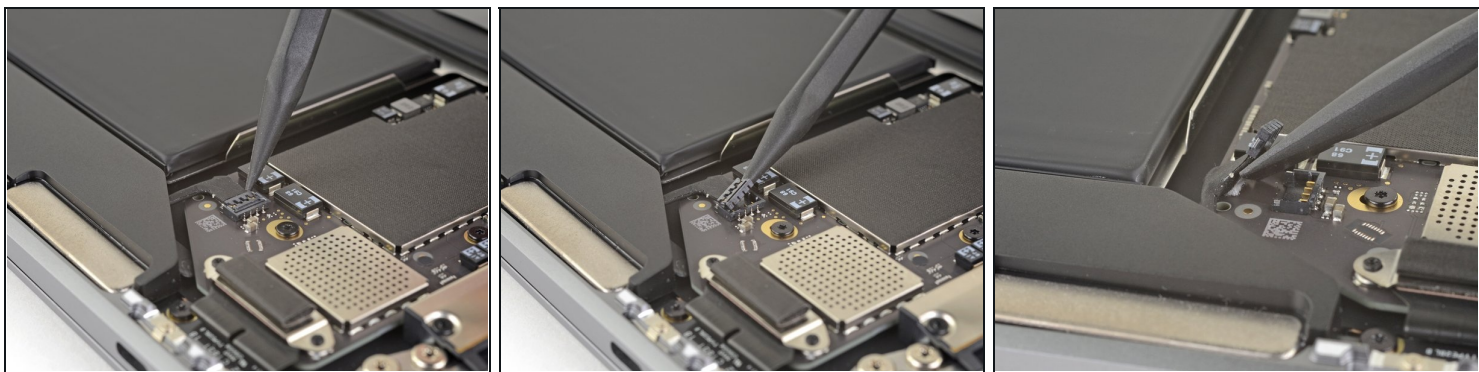
- T3トルクスドライバーを使って、トラックパッドコネクタのブラケットを固定している1.4mmネジを2本外します。
- トラックパッドコネクタのブラケットを取り出します。

## 手順 6



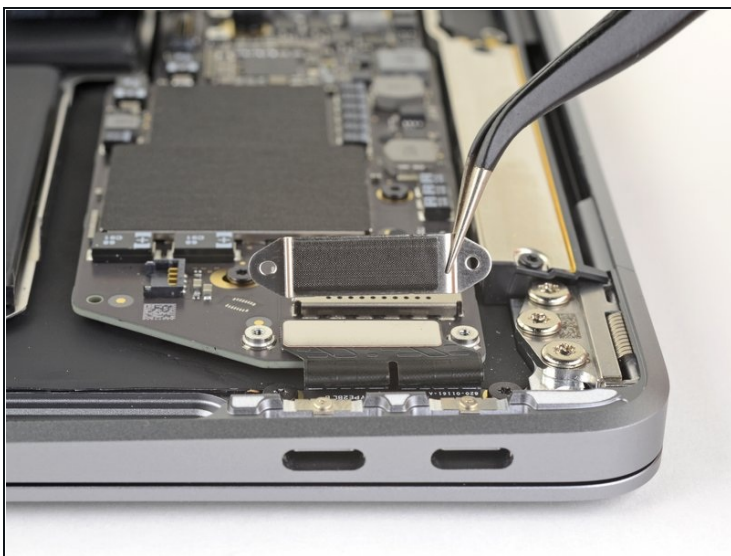
- スパッジャーの平面側先端を使って、トラックパッドのケーブルコネクタをこじ開けてソケットから取り出します。

## 手順 7



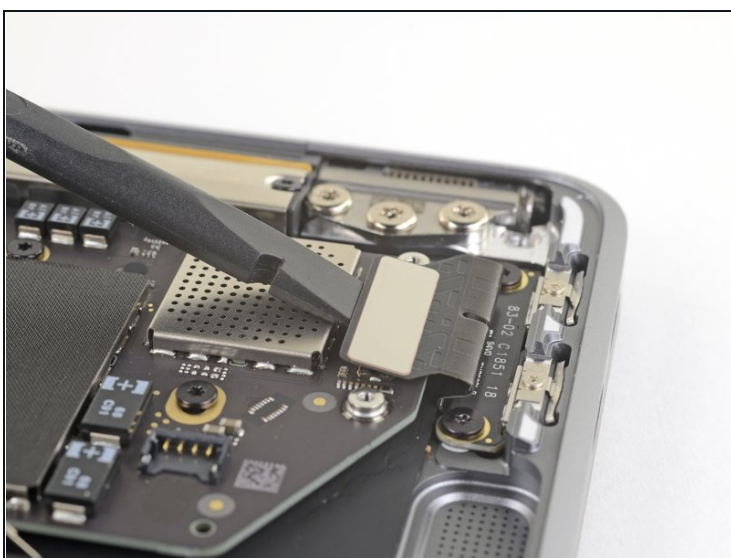
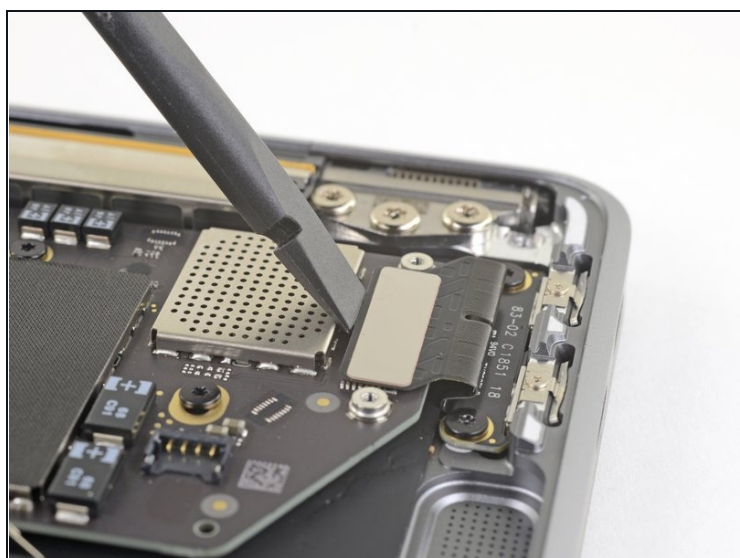
- 左側スピーカーの接続が外れている場合は、この手順をスキップしてください。
- スパッジャーの先端を左側スピーカーケーブルの下にスライドしてまっすぐ持ち上げ、スピーカーの接続を外します。
- コネクタの接続が外れたら、スパッジャーの平面側先端をケーブルの下にスライドして、ケーブルとロジックボードを固定している接着剤を剥がします。

## 手順 8



- T3トルクスドライバーを使って、USB-Cポートコネクタブラケットを固定している1.3mmネジを2本外します。
- USB-Cコネクタのブラケットを取り出します。

## 手順 9



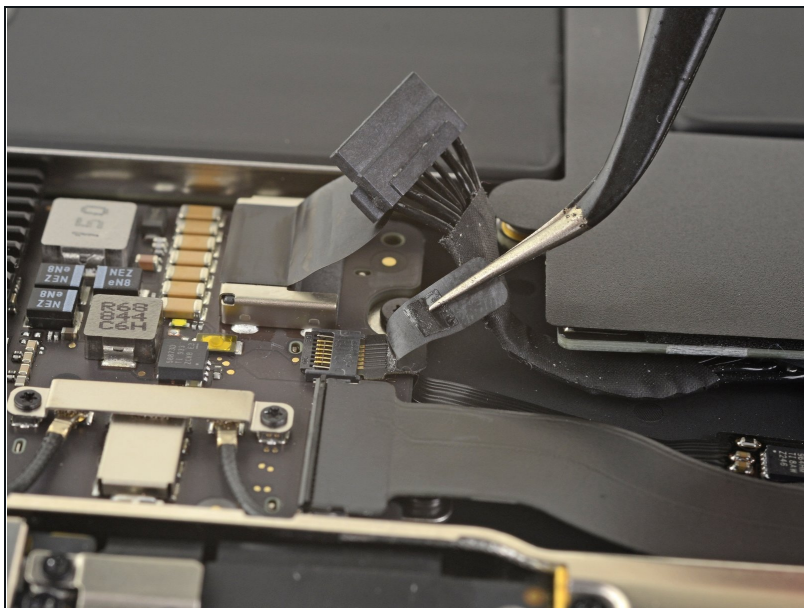
- スパッジャーの平面側先端を使って、USB-Cケーブルのコネクタを持ち上げて、ロジックボード上のソケットから接続を外します。

## 手順 10



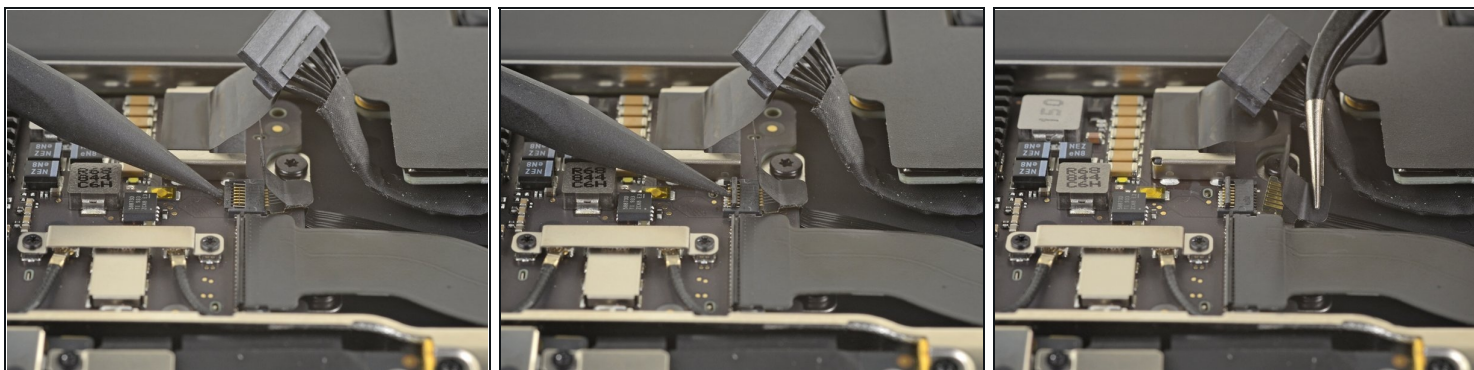
- スパッジャーを使って、サウンドボードケーブルの[ZIFコネクタ](#)上の小さなロックングフラップを持ち上げます。
- ZIFコネクタからサウンドボードケーブルをスライドして外します。

## 手順 11



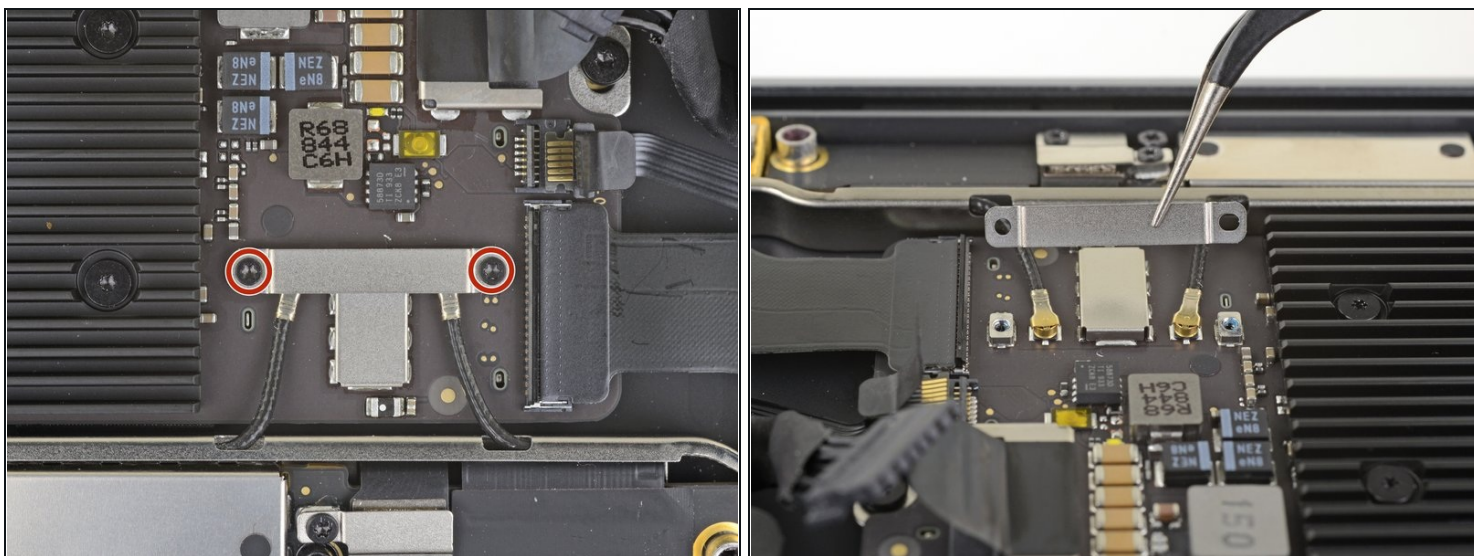
- ファンケーブルのコネクタを覆っている黒いテープを剥がします。

## 手順 12



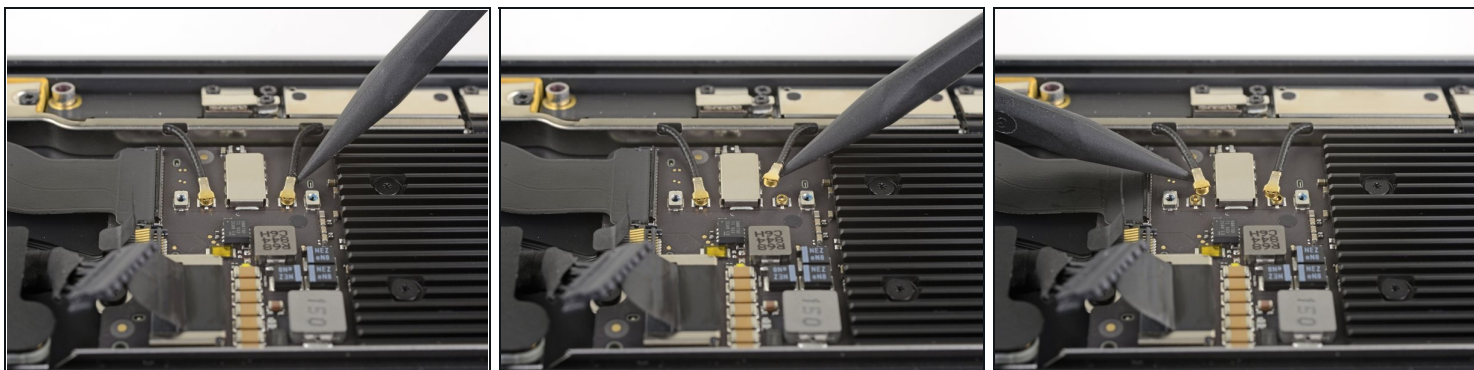
- スパッジャーの先端を使って、ファンケーブルのZIFコネクタ上にあるロックングフラップを持ち上げます。
- ZIFコネクタからファンケーブルをスライドして外します。

## 手順 13



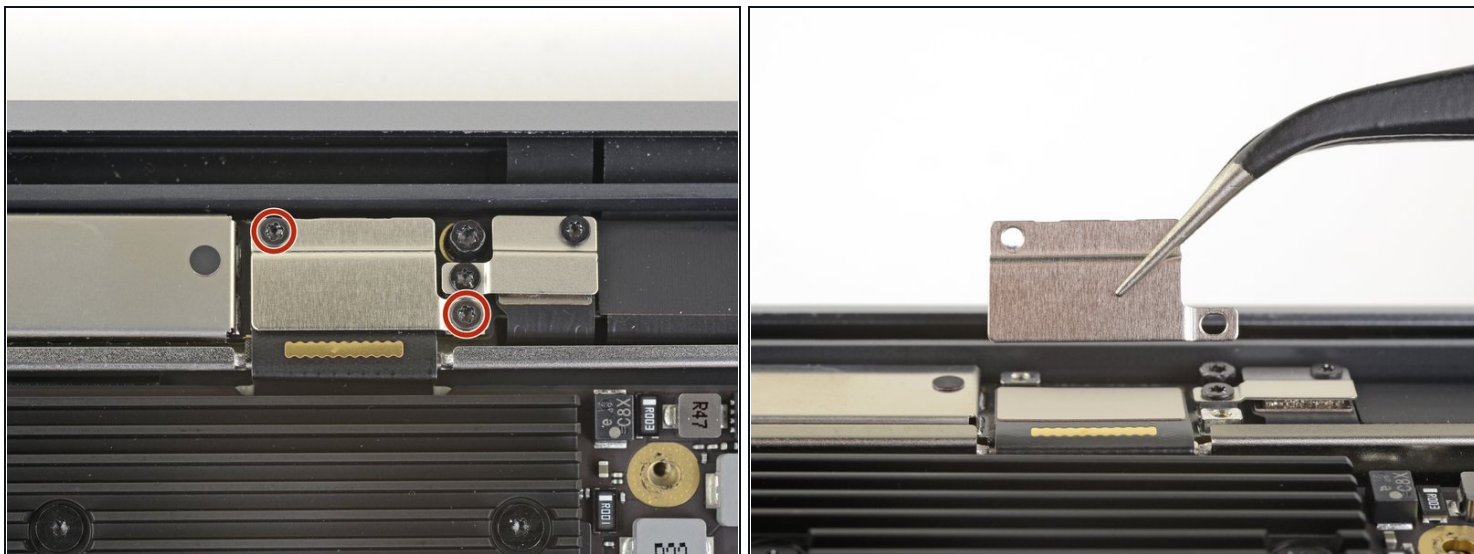
- T3トルクスドライバを使って、アンテナケーブルブラケットを固定している1.4mmネジを2本外します。
- アンテナケーブルブラケットを取り出します。

## 手順 14



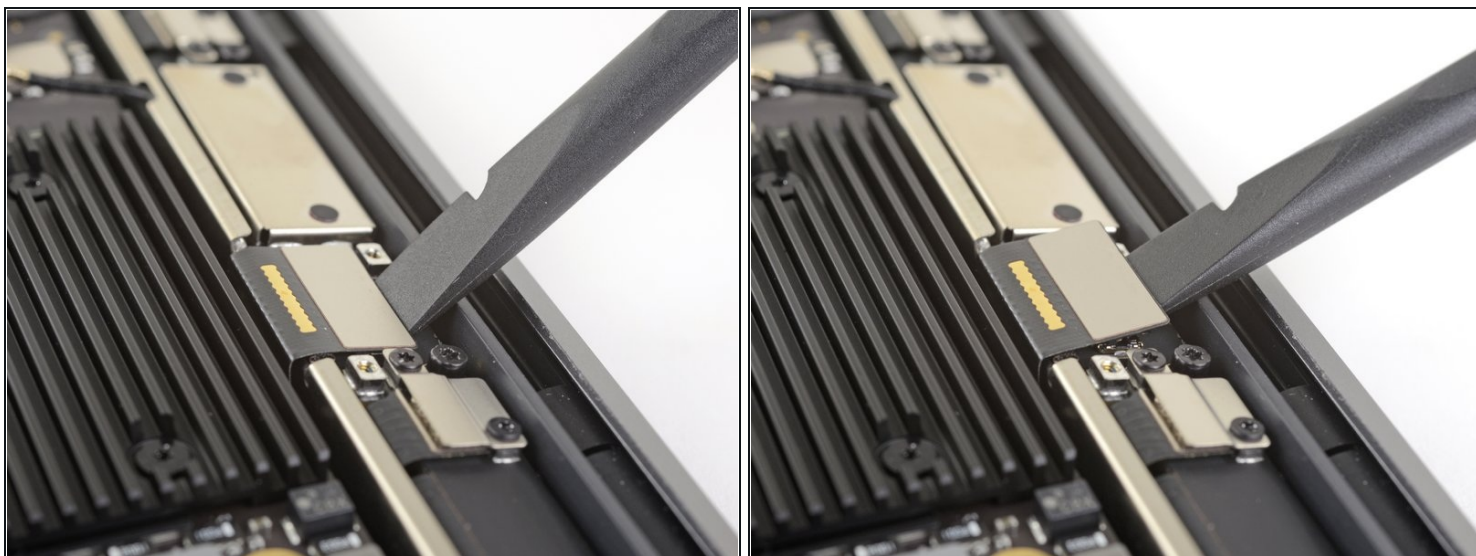
- スパッジャーの先端を、コネクタに近いアンテナケーブルの一つの下に差し込みんで外します。
- もう片側のアンテナケーブルにも同じ作業を繰り返します。

## 手順 15



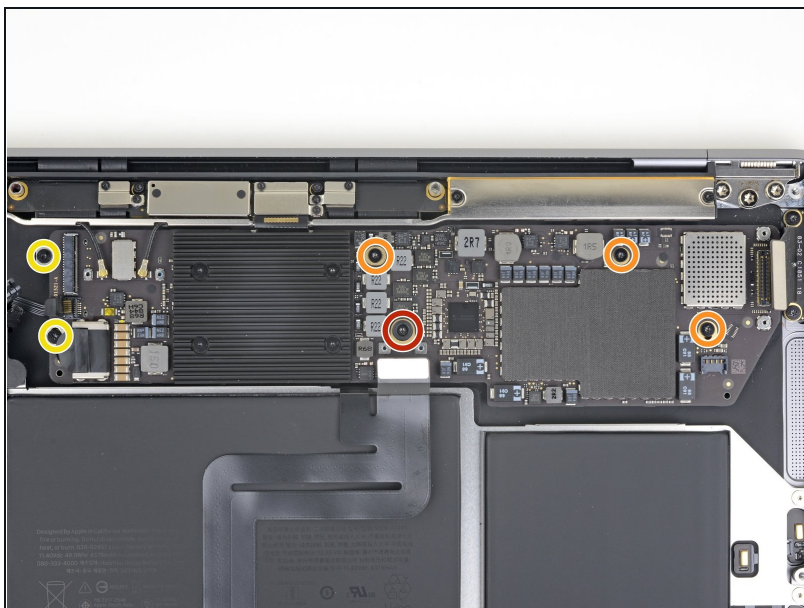
- T3トルクスドライバを使って、ディスプレイケーブルコネクタのブラケットを固定している1.5mmネジを2本外します。
- ディスプレイケーブルのコネクタブラケットを取り出します。

## 手順 16



- スパッジャーの平面側先端を使って、ディスプレイケーブルのコネクタをこじ開けます。

## 手順 17 — ロジックボードのネジを外します。



- T4トルクスドライバーで次のネジを外します。
  - 5.5mmネジ—1本
  - 2.6mmネジ—3本
  - 1.9mmネジ—2本

## 手順 18 — ロジックボードを取り出します。



- ロジックボードを取り出します。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらの手順を逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、[認可済みリサイクルセンターR2](#)を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？まずは[ベーシックなトラブルシューティング](#)を試してみるか、このモデルの[アンサーコミュニティ](#)に尋ねてみましょう。